

### 第3講

小幡道昭

2016年4月28日

1/5

- 資本主義は次の二つのシステムの結合体
  - 1 資本主義は、貨幣が実在する市場＝商人が活動する市場＝資本が中心となる市場
  - 2 生産システム
- 前は第1のシステムについてのガイダンスをやってみました。
- 今回は第2のシステムについてのガイダンスです。
- とくに、資本主義のはじまりの時期に焦点をあてて、独自の生産システムがどのように生みだされたのか、考えてみます。
- あわせて、今回と次回で、資本主義の「発展段階」という考え方も説明してゆきます。

2/5

### 発展段階

- 資本主義といっても、実はいろいろなタイプがある。
- 資本主義は「変わる」... といっても、単なる量的変化ではない。
- 全体の仕組みが「変わる」＝構造転換＝
- 資本主義の「発展段階」という考え方：有名なのは、宇野弘蔵の生成・発展・没落の三段階

3/5

### 重商主義段階

重商主義とは

- 狭い意味では「一国を富ませるもとは対外貿易のプラス分だという経済思想と政策体系」
- 「重商主義段階」というときは、広い意味で、資本主義が発生した時代を一般的に指す。

資本主義への二重の経路

- 1 16, 7 世紀の西ヨーロッパにおける商業の活性化
- 2 大量の賃金労働者の形成

4/5

### 自由主義段階

- 羊毛工業から綿工業へ
- 産業革命と工場制
  - 最初の工場：クロムフォードの水力紡績工場
  - 企業家アークライト
  - 社会企業家 ロバート・オーウェン
  - ニュー・ラナークの紡績工場

5/5

### 自由主義段階 世界の工場

- The Workshop of the World
- 蒸気機関をつかったイギリス綿工業
- 世界の工場 マンチェスター
- クワリ・バンク・ミルの工場
- 労働者の状態

6/5